

第6回 湖西市定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

開催日時	平成28年9月23日(金) 午前10:00~11:30
開催場所	湖西市役所2階 市長公室
委員	(出席者) 8人 (欠席者) 3人 (事務局) 4人
内 容	
1 事務局のあいさつ	今回の懇談会は、3年を経過したビジョンの時点修正を目的として開催。
2 懇談会委員について	委員の役割と構成について説明 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「定住自立圏共生ビジョン」の違いについて説明。
3 議題	(1) 定住自立圏共生ビジョンの修正(案)について ・「定住自立圏共生ビジョンの概要」について、事務局から説明 ・「定住自立圏共生ビジョン(変更案)における修正箇所」、「前回ビジョンから増減のあった主な事業と理由」、「その他の修正」について、事務局から説明 ・掲載事業について写真資料をつかっている内容説明 (質疑応答) 委員：45ページの新居関跡保存整備事業について、実施時期変更による減額ということであるが延期になった理由と完成はいつを予定しているか。新居関跡周辺は、電柱の地中化を行っていただき整備が進んでいるため、こちらも計画的に行っていただくとまちづくりという面でも非常に効果的と思われる。 事務局：延期理由と完成予定時期は担当課に確認を行う。 電柱の地中化は、関所前は地中化が完了している。また、関所より東側に浜名橋まで電柱の地中化を行いたい旨を県に依頼している。完成予定時期は未定。 委員：32ページの産業振興の取り組みの方向に6次産業化とあるが、広義の意味で農工商連携と同じものと考えて良いか。 事務局：同じものという認識でよい。

委員：26ページの子育て支援センターの運営事業(事務事業評価)について、H27の実績が大幅に増加しているが、何か変わった点があるのか。

事務局：H27は、総合戦略の交付金をもらい西部公民館で子育て支援広場等を追加で実施した。これにより利用者が増加している。H28も同様に計画しているため、目標もそれに合わせている。

委員：45ページの新居関所周辺まちづくり事業について、イベント実施時など新居関所駐車場だけでは不足している。整備に合わせて駐車場も検討してもらいたい。

事務局：すぐに整備できる土地がないのが現状である。関所南側の空き地を有効利用できないかという話を出している。また、北側に幼稚園の跡地があり、イベント時に開放するなど対応をしている。

委員：43ページの新居弁天IC取付道路整備事業により道が広くなり便利になった。低木や雑草についても、歩行者の安全や景観を考慮し対応をお願いしたい。

事務局：草刈り等を実施しているが予算の関係もあり、なかなか難しい面がある。今年度は、昨年より予算を多く計上してあるため、より良くなるように実施していく。また、道路により管理者が違うため、場所により国や県に情報提供をしている。

ごみのポイ捨てという面では、地元の自治会とゴミ拾いを実施している。引き続き景観に配慮した管理をしていきたい。

インターチェンジ東側は、住吉公民館前まで歩道整備を行う計画があるため、早期に実現したい。

委員：36ページのごみ減量化推進事業の生ごみ消滅容器キエーロは、毎年無料配布しているのか。

事務局：キエーロは、粗大ごみで持ち込まれたタンスの引き出しを再利用し、作っているものである。材料があれば作るため、時期によってない場合もある。無料だが、配布者にはモニターになり感想をいただいている。今後も再利用という観点からも継続していく予定である。

委員：44ページの新所原駅周辺まちづくり事業について、28年度に橋上駅、南北自由通路完成予定とのことだが、南口の運用はいつからになるのか。

事務局：南北の駐輪場は、今年度完成予定であり、南口も利用可能となる。また、暫定的に車両の乗り入れも可能とする予定である。

委員：新所原駅の1日の利用者は、どの程度いるか。また内訳はどうか。

事務局：7,000～8,000人と記憶している。会社員、学生が多い。

委員：22ページに将来目標人口64,000人とあるが、現状はどうか。

事務局：2016年8月末時点で60,527人である。

委員：定住自立圏共生ビジョン策定当初の数値が掲載されているが、目標の数値が高すぎるのではないか。見直しはしないのか。

事務局：64,000人は、湖西市総合計画の基本構想に定められた数値である。後期基本計画を今年度作成したが、その中でも基本構想に定められている数値であるため、見直しを行っていない。この目標を達成するのは困難かもしれないが、努力目標ということで少し高い目標を設定している。

委員：64,000人を基にした予算を作っていると思うが、目標人口が減れば予算も減るという認識でよいのか。

事務局：人口等が予算に影響することはほとんどない。あるとすれば子育て支援手当等の手当関係や就園奨励金等である。他の市の施策等に人口に影響することは、ほぼないと思われる。

歳入等は、市税の関係で変わってくる。また、持ち家やアパート等による影響も多少あると思われる。

18～30歳位の若者が、首都圏に就学しそのまま就職することによる人口減少等もあるため、UIJターンに力を入れなければいけないと考えている。そのような面で予算をつけることが必要であると考えている。

委員：福祉関係で平成29年度に社会福祉法の大改革がある。これにより社会福祉法人は、充実財産をもって社会福祉事業の充実計画を立てなければいけない。社会福祉法人の剰余金により社会福祉事業の手伝いをしなさいということである。準備を進める中で様々な問題が出てきた。1つが空き家の問題である。市内に空き家が非常に多い。他には1人暮らしの方をみる体制が整っていないこと。これらを社会福祉法人等で検討している。来年度以降福祉関係が大幅に変わってくると思われるため、それらについても認識しておいてほしい。

委員：34ページの企業立地促進事業の国県補助事業等の名称、補助率等内にある市助成額の1/2以内という表記が、事業概要内の文章と一致しない。

事務局：担当課に確認します。

(2) 意見票への回答について

・「湖西市定住自立圏共生ビジョン」意見票への回答について、事務局から説明
委員：41ページのバス事業について、白須賀等で障害者の就労支援等を行っている事業所もある。バスのルートを変えることは、困難だと思うので何か車両であったり市の方で支援等あればと思う。

事務局：必要性については感じている。コーちゃんバスの検討会を行っている。来年度以降もどのような形にすれば、利用者が増加するか検討している。空白地帯については、デマンドタクシー等の方策も検討の中で出ている。

4 事項連絡

・今後のスケジュール